

# 活用効果評価結果

公開版

平成23年度

近畿地方整備局 新技術活用評価会議

新技術概要 (申請情報)	開発目標	省力化、周辺環境への影響抑制、地球環境への影響抑制									
	新技術登録番号	KK-080039-A	区分	材料							
	分類	環境対策工 ー 大気汚染対策工									
	新技術名	光触媒ハンノウコート									
	比較する従来技術 (従来工法)	光触媒塗料									
新技術の概要 及び特徴	本技術は道路付属物等に光触媒ハンノウコートを塗布することにより大気NOxを除去する技術である。アパタイトの吸着性能によりNOxを塗布面に吸着させ、光照射時には原材料である酸化チタンがそれらを分解する。分解されたNOxは水に反応し硝酸イオンとなって雨水と一緒に流れ落ちる。										
活用効果評価	所見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2工程で施工できるため、経済性の向上及び工程短縮が期待できる。</li> <li>・塗装と比べ施工管理の縮減ができる。</li> <li>・工程短縮により安全性と施工性が向上する。</li> <li>・作業日数削減により路上規制を削減でき施工時の騒音等の低減ができる。</li> </ul>		<p>項目の平均(点)と従来技術(従来工法)(点)の比較</p> <p>項目の平均(点)と従来技術(従来工法)(点)の比較</p> <p>—— 従来技術(従来工法)    —— 新技術</p>							
	留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・外気温5℃以上、湿度85%以下で施工可能である。</li> <li>・雨天、降雨の恐れがある場合は施工を避ける必要がある。</li> <li>・強風の時は施工を避ける必要がある。</li> <li>・施工後、乾燥過程で降雨、降雪が生じた場合はシート養生などで最低24時間は塗布面に水が掛からないようにする必要がある。</li> <li>・多湿な時期や冬季には乾燥が遅くなるため、風とおしをよくして乾燥養生を行う必要がある。</li> <li>・高濃度蒸気を吸引する恐れがあるので防塵マスクを着用する必要がある。</li> </ul>									
活用効果調査結果	対象工事	1	沿道環境改善工事	近畿地整 (従来技術) 光触媒塗料	H21						
	項目	ケース番号 及び年度	1							項目の 平均 (点)	従来技術 (従来工法) (点)
	施工時 評価	経済性	B							B	C
		工程	B							B	C
		品質・出来形	C							C	C
		安全性	C							C	C
		施工性	C							C	C
		環境	C							C	C
		その他	—							—	—
	施工時評価点	C							C	C	
追跡調査	—							—	—		
総合評価点	C							C	C		
活用効果評価	項目	評価結果	補足								
	成立性	技術として成立している	内容	判定区分							
	優位性	従来技術と同等	従来技術に対して優れている度合い	A	従来技術より極めて優れる						
				B	従来技術より優れる						
				C	従来技術と同等						
				D	従来技術より劣る						
	安定性	-	各評価項目の判定結果による総合評価	高い安定性を有す	安定性に問題がない 安定性が確認されない						
現場適用性	-	技術の優位性が高いものの件数の多寡	広い	特に広いとまではいない 評価基準に満たない							
区分	従来技術に比べて活用の効果は同程度である。 また、活用効果調査件数が少なく評価の信頼度については留意を要する。	-	-	-							
追跡調査の必要性	-	-	-	-							
追跡調査											